

指定管理者 取組と提案

事業者名 しながわ TRC・リディアグループ

資料 No. 4-1
品川区子ども読書活動推進計画策定委員会
令和元年7月22日

対象	これまでの取組	成果等	課題	提案
012歳時	<ul style="list-style-type: none"> ・012歳児向けおはなし会 区民のニーズが高く、平成29年度から定着に向け事業拡大をし、平成31年4月より各館で定例化した。	<p>30年度実績は別紙参照。</p> おはなし会への参加者が多く、保護者が必ず来館するため、来館者数、貸出数、登録者数の増加要因となった。	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者向けサービス 全館での対象世代向けサービス乳幼児啓発事業「はじめてのえほんよんでよんで」は、本や乳児向け資料を渡すのみで、保護者に向けての働きかけが不足している。	<ul style="list-style-type: none"> ・012歳児向けおはなし会での保護者向け図書館紹介 012歳児向けおはなし会で、保護者に向けて図書館の使い方、おすすめの絵本の紹介等を行う。
幼児期	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園、幼稚園対象 ・訪問おはなし会、来館おはなし会の実施 平成29年度から保育園、幼稚園の来館・訪問のおはなし会に取り組んできた。	<p>30年度実績は別紙参照。</p> 子どもを通して若い保護者への図書館PRに繋がり、来館者数、貸出数、登録者数の増となった。	<ul style="list-style-type: none"> ・継続利用を促す取り組みの不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・品川オリジナル「読書ノート」の作成 子どもたちが図書館を継続して使う事を促す読んだ本を記録する「読書ノート」を作成し、配布を行う。 ※実施予算等は別途ご相談
小学生期	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校からの依頼事業 図書館見学、ブックトーク、学校でのおはなし会を実施。	図書館に対する理解が深まり、来館者数、貸出数の増となった。	<ul style="list-style-type: none"> ・継続利用を促す取り組みの不足 ・学校との連携を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・品川オリジナル「読書ノート」の作成 モデル校と連携し、ビブリオバトルのワークショップを実施する。 ※実施予算等は別途ご相談
中学生期	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校からの依頼事業 職場体験を実施。	各館にて職場体験の参加者がその後来館するなど、一定の成果をあげている。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用の拡大 個別の取組みによる一時的な成果は得られたが、事業数も少なく効果的な広報手段も確立していないため、日常的に利用していただける環境の実現には至っていない。	<ol style="list-style-type: none"> ①ティーンズが本当に読みたい本の所蔵 ②コーナーの充実、拡大 ③モデル校と連携するビブリオバトル ④ティーンズへ情報を発信するHP作成 ※実施予算等は別途ご相談
高校生期	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動の紹介、作品展示 大崎高校ペーパージオラマ部、青陵中学・高校鉄道自動車部の作品展示 大崎高校防災部の部活動紹介展示 大崎高校の学園祭へ出展 大崎高校図書委員と連携したおすすめ本展示	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の住民にとって身近な施設である図書館から生徒たちの取組みを紹介したことで、近隣に立地する学校と直接関わりのない方々にも活動の情報に触れていただける機会を提供できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい取組の実施 品川区における子どもの人口増加に対して図書館の来館者数と貸出数は低調で、蔵書の見直しや事業実施、ティーンズコーナー充実、拡大をはじめとする図書館からティーンズ世代への新たなアプローチが求められる。	<ol style="list-style-type: none"> ④ティーンズへ情報を発信するHP作成 ※実施予算等は別途ご相談 <ul style="list-style-type: none"> ・「ティーンズ担当（中高生）」設置 中学～高校の世代をメインターゲットとして、資料選び、書架の管理、事業の企画と実施、アウトリーチ活動等の中高生に関する見識と専門的な知識が求められる業務に従事する。 これらの業務は、区立図書館で各事業を担う「一般担当（大人）」、「児童担当（子ども）」と同等の業務量が想定されることから、継続的で安定した運営のために現状の人員に加え各館で「ティーンズ担当」人員の新規受入れをご提案する。
大学生期	<ul style="list-style-type: none"> ・大学生が活動できる場の提供 ・写真資料の提供 清泉女子大学落語研究会の落語会 「品川区制70周年記念 交通の発展とともに歩んだ品川の歴史」展の区内4大学から提供していただいた写真展示	<ul style="list-style-type: none"> ・落語会は、区内の大学生が落語を演じる姿を地域の方々に楽しんでいただける機会となり、大学生自身も学校以外で活動できる場として活用していただけた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の取組みによる一時的な成果は得られた。 ・大学は図書館機能も専門的で規模も大きいことから、高校生までの読書推進とは異なるアプローチが求められる。落語会のように、学生と地域の方々を結ぶ取組が学生と区立図書館双方で相乗効果を発揮できると考えている。	<ul style="list-style-type: none"> ・区立図書館は人と人をつなぐ場の役割を持っていることから、学生と地域の方々が交流できる事業を検討する。